

事業報告書

令和2年度

【令和2年4月1日から令和3年3月31日まで】

学校法人 山田学園

1. 法人の概要

- ① 名称：学校法人 山田学園【昭和43年3月28日法人設立】
- ② 住所等：大阪府守口市金田町2-27-10
電話番号 06-6901-8873
ファックス 06-6901-3199
ホームページ <http://kinda.ed.jp>
メールアドレス info@kinda.ed.jp
- ③ 設置する学校
学校の名称：認定こども園金田幼稚園（幼保連携型認定こども園）
- ④ 理事長氏名：山田 敏和
*理事6人、評議員13人、監事2人 R2年度定例理事会2回・臨時理事会1回
- ⑤ 教職員の状況（R3.3.31時点）
教職員数人（内、常勤26名・常勤育休3名・非常勤11名・バス業務委託1名）
2年度末退職者（常勤1名） 3年度新規採用者（常勤3名、非常勤1名）

2. 事業の概要（令和2年度金田幼稚園の概要）

- ① 教育方針
- ・一人ひとりの子どもが園生活を楽しむ中で、基本的な生活習慣と社会に適応できる基礎的な態度が身につく。
 - ・一人ひとりの子どもが園生活を楽しむ中で、友達と力を合わせてがんばったり思いやりしたりしながら充実感を味わう。
 - ・一人ひとりの子どもが園生活を楽しむ中で、豊かな感性を培うことができる環境を与え、素直に自己表現ができる。

② 学年、定員、実員（内訳）

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
認可定員	9	12	12	60	60	60	213
R2.4.1	1	7	15	57	60	57	197
R3.3.31	6	12	15	55	60	58	206

1号認定子ども141名、2号認定子ども39名、3号認定子ども33名

③ ○ 教育時間

月～金曜日：午前保育時：午前9時～午前11時30分
午後保育時：午前9時～午後2時30分

○ 保育時間

月～土曜日：午前7時30分から午後6時30分

○ 日・祝日：休園

④ 10 費用等

(1) 入園までにかかる費用

入園検定面談料 (1・2号)	3,000円
受入準備金 (1・2号)	20,000円
施設充実費 (1・2号)	30,000円 ただし、0～2歳児から在園している場合は施設充実費は不要
施設充実費 (3号)	30,000円
冬制服一式 (体操服込) (1・2号)	22,870円 (男児)
(服類と制靴・制帽子)	23,300円 (女児)
冬体操服2セット (2歳児)	10,380円
スモック (1・2歳児)	1,260円
組帽子 (0～2歳児)	1,030円
連絡帳 (0～2歳児)	390円
用品代 (1・2号)	(3才児) 約11,000円 (4才児) 約18,000円

(2) 入園後毎月必要な費用

保育料	園児の居住する市町村が定める額	
特定保育料 (教育充実費)	3,000円 (1号) 4,000円 (新2号) 5,000円 (2号) 2,500円 (3号)	
PTA会費	800円	
給食費 (1・2号のみ)	5,100円 (1号) 減免者は2,100円 ※370円 7,650円 (2号) 減免者は3,100円	
諸費 (年度末に精算し余剰金は返金)	5歳児：2,100円 4歳児：1,900円 3歳児：1,800円	
寝具類 (3号)	タオルケット (敷き・掛け2枚組)	1,050円
	布おむつ・カバー (とれましたら以後は 不要) (半月ごとの精算)	5,850円 (0歳児) 5,250円 (1歳児)

(3) 利用者のみ必要な費用

バス利用料 (1・2号)	往復3,000円 (片道2,000円)
--------------	---------------------

(4) ホームクラス利用料

1号 認定	早朝保育		教育時間	預かり保育①	預かり保育②	
	7:30～	8:00～	8:50～14:30(午前保育 11:30)	～16:30	～17:30	～18:30
100円 (1,000)	200円 (2,000)	♪		500円 (5,000)	200円 (2,000)	200円 (2,000)
2・ 3号 認定	延長保育		保育短時間		延長保育	
	7:30～	8:00～	8:30～16:30		～18:30	
	100円	100円	♪		30分100円	
	保育標準時間					
♪ 7:30～18:30						

※長期休暇中は別体系あり

⑦ 行事の実施

- 4月/入園式、1号休園、各家庭に電話
 - 5月/1号休園、動画配信、各家庭に電話、分散登園
 - 6月/個人懇談、尿検査、内科・歯科検診、はみがき指導、視力・色覚検査、水遊び、宿泊保育説明会
 - 7月/参観、PTA総会、七夕飾り、宿泊保育
 - 8月/個人懇談、終業式、始業式、土曜参観(乳児)
 - 9月/ぶどう狩り(幼児)、園内研修
 - 10月/移動動物園、運動会、いも掘り(幼児)、園内研修
 - 11月/あそびの広場、みかん狩り(2～5歳児)、お店屋さんごっこ、園内研修
 - 12月/生活発表会(乳児)、交通安全教室、クリスマス会、保育参加(乳児)
もちつき、個人懇談、終業式、園内研修
 - 1月/始業式、新入園児一日入園、内科検診、消防点検、園内研修
 - 2月/豆まき、生活発表会、深北緑地(幼児)、個人懇談(年長)
 - 3月/ひなまつり会、体力測定(年長)、お別れ会、個人懇談(年中・年少)、卒園式、修了式
- *毎月、身体計測・避難訓練・食育活動・誕生会を実施
- *園庭開放は8回
- *随時、子育て相談を実施

⑧ 今年度の主な目標および計画の達成度

4月早々にコロナウイルスの影響で1号認定は登園停止、2・3号認定は登園自粛となり、5月末まで20人程度の登園のみとなり、各行事も中止または延期となった。5月末から分散登園を開始し、6月から本格的に保育が始まったが、新たな生活様式として、消毒の徹底、マスクの着用（幼児）、全体で集まる活動、ピアニカ指導は中止としたり例年とは異なる中で1年が過ぎた。園としてコロナ感染者は出なかったことは職員および保護者の方の協力のおかげであるが、開始後の行事も分散実施がほとんどとなり、対応に試行錯誤した。

例年と異なる流れで保育、家庭生活ともに進んだことが影響しているのか、例年とは異なる子どもの姿があり、来年度以降注視したい。

ただ、その中でも行事の見直しの際に職員間でなぜその行事が必要かなど、再度確認しあうことができ、チームとしての結束は強まったように感じる。

役員会5役さんの業務の整理をする点については会長様が率先してデータを作成くださり、次年度以降の業務負担につながるようになった。

研修の回数は減ったが、ネット配信やZOOMなどで実施されるものについてはできるだけ参加することができ、往復の時間や人数に制限がなくなる点ではメリットがあった。

⑨ 経営にかんする部分

2年度の園児の募集にあたっては、当初0、1歳児で募集が進まなかったが月ごとに増え、2学期からは予定の定員に達したことで、最終的には安定した収入が得られた。

新型コロナウイルスの影響で1号認定児の登園自粛があり、給食費および保育料、バス利用料の一部を返金したが、収益の部分にかんしては大きな影響はなかった。

職員採用にかんしては久しぶりに人材紹介会社を利用することなく、正規3名、パート1名を採用できた。